

素人が本当に「国家試験合格能力」を養えるのか？ 合格率の低さの原因は、素人の教育指導の結果だ 【学習支援金】対象には、素人の教育指導は該当せず！

※ 弊社では岡山県で、電話と面談の上、聞き取り調査を行った結果、約30施設ある中で、具体的に「職員が教えている」とか、「ボランティア・元教諭・元介護士などが教えている」と、回答した施設数は、約40%に及んでいることが判明した。

※ これらの人達は、「日本語専門家」には決して該当する人々ではない。いわゆる「教育の素人」と言わざるを得ないし、教育効果が期待できる人ではない。

※ 岡山県の傾向が全国的に当てはまるか、否かは不明だが、他都道府県の施設からも同様の声を度々聞くことがあるために、決して、この傾向は、岡山県に留まるものとは、言い切れない。

※ なお、【学習支援金】は、これらの素人に対しては適応できない助成金であるので、もし、助成金申請で、「日本語学習費用」として交付を受けた場合には、明らかな違法行為となるために、十分な注意が必要だ。

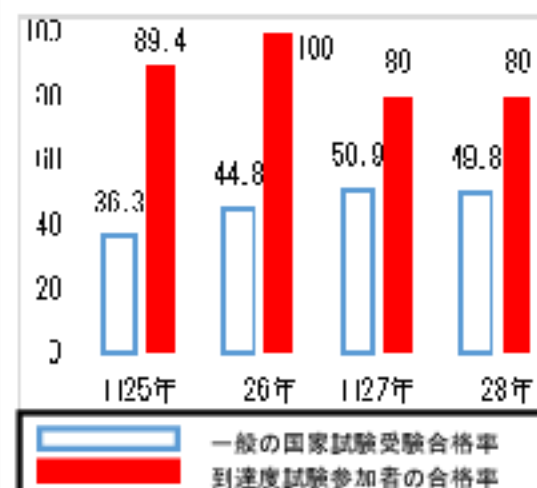
I.【過去4年間の合格率推移の解析】

● 表1は、過去4年間の国家試験合格率の傾向を表している。この傾向には、大きな変化がなく、毎回の合格率は平均すると、**45.45%**となっている。この中には、足切で4年目に受験して合格した者をも含むので、実質的には、**40%**以下の数値にならざるを得ないのが実態だ。

● その最大の原因は、日本語教育指導者が素人であるために、受験者の理解を伴わずに、過去問題の消化作業を最大の学習目標として行っているからだ。その結果、「暗記法」となるために、受験者が消化不良を起こしてしまい、最も大切な「学習意欲」を失ってしまう状態が作られることで、不合格となるのだ。

● 弊社の聞き取り調査で、岡山県内では約40%の施設で素人が教育指導をしていることが判明している。その数値と合格率の数値が非常に近いことは、これを物語っている。

表1、【過去4年間の合格率の推移】



II.【「素人の中」では、 職員の教育指導の割合が極めて高い！！】

● 聞き取り調査の中で、特に印象強く残っている声としては、「私は日本語の事はよく分からないのに担当にされた。もし、これで合格できなければ、責任は私に問われるのが嫌だ。」とか、「施設長に何度も、学習支援金を使って、日本語の専門家に依頼して欲しいと交渉したが、『施設の事情でそれはできない。』とか、『もし、専門家に頼めば私の仕事量も減り、受験者ももっと、日本語力が上がり、仕事をしやすくなるのに、それができない。』とか等が、強く現場から聞こえてきた。

● 職員の多くが、「自分は日本人であるが、日本語を教える知識などは全く持っていないという自覚」が共通にあり、「受験者の合格を本当に願うならば、専門家に頼むべきだ」という認識が広く、いき渡っていることが判明した。

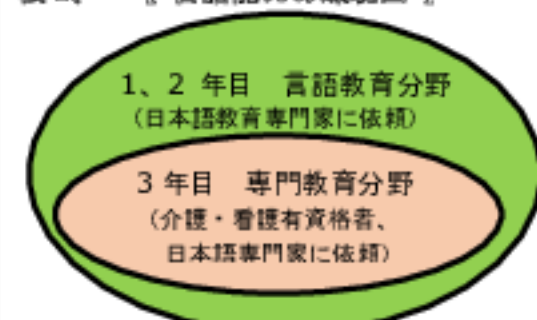
● なお、ほとんどの職員には、指導手当は渡されておらずに、無償で行っていることも明らかとなった。施設が合格率を高めることを望むならば、表1で明らかのように、専門家の指導を得るべきだ。

III.【言語能力のない受験者に対して、専門知識は無駄！】

● 表2は、人間が言語能力を身につける過程を平面化した図で、専門用語や知識等を習得するためには、まず第一に、受験者が「日常生活に支障がない言語能力」を身につけることが言語能力を養う上での土壌となることを表しているものだ。「素人」でも分かる事は、「小学生に専門学校の教科書や参考書を与えて勉強しろ」という大人がいるだろうか。

● この点一つを考えても、EPA受験者に対して入職時から事業団教材を使ったり、過去問題集を解かせたりする指導が、いかに受験者の立場に立っていないかが、よくわかる。

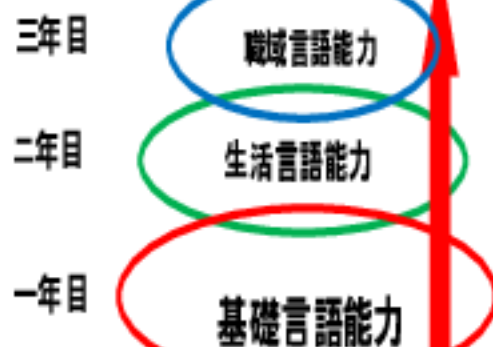
表2、【言語能力の環境図】



IV. 【「3年間計画」を遂に、3年間の 言語能力を養うべきだ！】

- 表3は、日本の教育制度「小・中・高等学校（専門学校）」を想定して作られた【言語習得過程図】だ。そして、日本人で、看護・介護福祉士国家試験を受験する人達は、全て表3の過程を経た上で、受験していることを認識すべきだ。
- EPA受験者も、日本人受験者と同様に短期間であるが、同じ【言語習得過程】を経なければ、「国家試験合格能力」を身につけることはできないと、考えることが重要だ。
- この考え方に基づいて、入職時から受験日までの3年間の「学習計画表」を具体的に作れる素人がいるだろうか。この一点を考えただけでも、素人では外国人に日本語教育を行い、「国家試験受験能力」をも養うことは、素人には至難の業だ。ましてや、「国家試験合格能力」を養うこと等は、とても困難なことだと認識すべきだ。

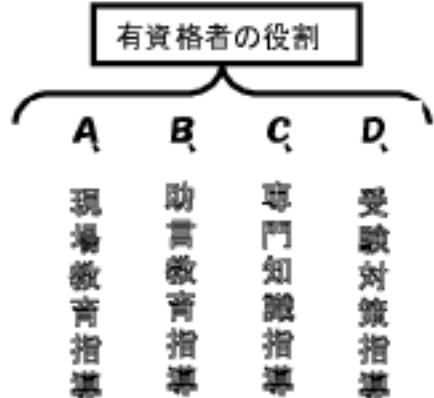
表3. 【3年間「学習計画」骨子】



V. 【専門用語・専門知識の教育は、 介護有資格者が行うべし！】

- ※ 介護施設には、介護福祉士国家試験を合格している有資格者が多数おり、その介護士達は、日夜、利用者のために介護技術を駆使して、技能を熟練させている人が多い。そして、介護福祉士は、その職業に誇りを持ち、高齢化社会の一翼を担う責任を果たしている。
- 表4は、熟練度の高い介護士が受験者に対して行える範囲を分類した表だ。以下、その概要を説明する。

表4. 【有資格者の役割図】



※ 有資格者の役割を明確にすることで、施設の「有資格者の資質の向上」を促すことができ、介護サービスの質的向上が実現できる。

A. 「現場教育指導」

この指導は、受験者と共に、日常業務を行う中で、介護士として必要な基礎技術を体得させる指導のこと。この指導時に、国家試験問題で出題された「専門技術の知識」を、現場に合わせながら、分かり易く、できるだけ国家試験問題に合わせながら実技をさせて、体得させる指導をすることが重要。

B. 「助言教育指導」

この指導は、受験者が業務中に「専門用語の質問や、専門知識に対する質問等」をした場合に、受験者の言語能力の範囲で、受け答えをすること。そして、「どのような勉強をすればよいかな」を助言しながら指導すること。

C. 「専門知識指導」

この指導は、介護福祉士になるための「介護参考書や、介護専門書等」を基に、指導する介護士が学習した経験を活かして、受験者にその学習の仕方や方法等を理解させて指導すること。また、できるだけ、指導する介護士の経験談等を受験者の見本となるように語って、専門知識に対する理解度を深める指導のこと。

D. 「受験対策指導」

この指導は、3年目に行うことが最も効果的と言える。なぜならば、国家試験を控えた最後の年であり、また、受験者の精神状態や「合格への意欲」が高まっている時期であるからだ。そのため、受験対策指導は、極力、指導する介護士が受験する心境で対応すると、より指導効果上がる。（過去問題・参考書中心）

【日本人向け 国家試験 合格能力到達点試験】

※ 弊社では、介護施設の人材不足解消対策に役立てるために、本試験制度を新たに設けて、施設内の無資格者を対象に、実施することになりました。

※ 既に、先進的な施設では、独自に有資格者増加策として、国家試験対策を行い、効果を上げている所があります。
詳細については、弊社までご連絡を！

【学習支援金の適応範囲】

※ 厚労省のEPAに基づく外国人看護師・介護福祉士受入れ関係事業の参考資料 3-3によると、「3、介護福祉士候補者に対する学習支援」では、以下のよう

に明記されている。

- (1) 受入れ施設が行う候補者の学習に対する支援
 - ① 候補者の学習支援
 - ・ 日本語講師等への受入れ施設への派遣等
 - ・ 日本語学校への通学
 - ・ 模擬試験や介護技術講習会への参加
 - ・ 学習支援に必要な備品購入費用

施設の声

ボランティアに日本語学習を依頼しているが、 思うような変化はなし……！！

- 毎週月曜日に 8 時間の学習時間をとっている。ボランティアの日本語教師に指導を任せているが、日本語力が高まらずに意思疎通が難しい。
- 「学習支援金」は申請しているが、『施設の事情』もあり、ボランティアに任せるしかない状態だ。もっと、専門的な指導を受ければ、日本語能力も高まるとは思っているが、それができない。

(岡山県・U施設)

学習意欲が低下、外部に任せたいが 依頼できず……！

- 今年の 12 月で入職して 1 年を迎える。現場の業務は慣れてきて、少しはできるようになってきた。しかし、日本語学習となると、職員が指導しているだけなので、思うように上達しない。また、学習意欲も、なくなってきていて、勉強をしなくなっているのが、今後がとても心配だ。
- 「学習支援金」は申請しており、ことばの研究社の「到達度試験とスカイプ授業」の参加も検討したが、施設長から『施設の事情で許可がおりなかったこと』が、参加できない理由だった。

(岡山県・S施設)

事業団教材は、2 年目になると難しく、 受験者が対応できない状態だ！

- 入職して 1 年目は、日本語学習では易しい漢字などを中心に学習していき、何とか、ぼちぼち日本語もできるようになってきたかなと感じていた。しかし、2 年目に入ると、介護の参考書や専門知識・用語が難しいために、表面的には文は読めているように見えるが、本当に受験者の頭の中で理解できているのかが、見ている職員も理解できないことが多い。
- 入職してからずっと、『施設の事情』で、外部の専門家に依頼することができず、施設長と元介護職員だった方が講師として施設に来て、指導している状態だ。施設内でも工夫しながら、二名対応で学習指導にあたっているが、日本語の専門家でもないし、事業団の教材を使って指導しても、なかなか、上手くいかないのが実態だ。これを何とか打開して、良い方向にもっていきたい。

(広島県・F施設)

ボランティアでは、教育効果は表れない……！

- 【月報】は毎号読んで参考にしている。特に、10 月号の【月報】の内容を読んで、全国的に介護分野では人材不足と言われているが、佐賀県内も同じで、日本人は全然集まらない。
- 人材不足解消のためにも、EPA の候補者を育てて、施設の戦力になる人材にしていかなければいけないと思っている。そのフィリピン人もようやく N3 を取得できたが、まだまだ日本語力は低いと感じている。近くで、たまたま通訳兼、ボランティアの方を見つけることができ、その人に週一回、指導をお願いしているが、日本語の専門家ではないので、なかなか上達させることは難しい状況だ。学習支援金があるのに……(佐賀県・K施設)

人材不足は、どこも同じ……だからこそ、EPA 候補者を即戦力に！

- 10 月号の【月報】に、日本人の介護士受験者の減少が特集されていたが、本当に、どこも同じだろうが、募集をかけても人材は来ない。四日市はそんなに大きい市ではないが、企業は結構あって、スーパー・飲食店等も多いので、皆そちらに流れて介護士は常に不足している状態だ。施設も周りに沢山あるので、有資格者の人材は、奪い合いになって、とても獲得できない。
- 主婦のパート先は、スーパーで、大学生のアルバイト先は、飲食店で働く人が多い。女子大生の就職先も、介護は選ばない。だからこそ、EPA の候補者達を、とても頼りにせざるを得ない。
- 2 年前までは職員が教えていたが、教育効果がなく挫折した。そこで、現在、3 名の候補者が「到達度試験」に参加しているが、2 年前までの候補者とは違い、日本語力が明らかに違って、意思疎通が正確にできることに驚いた。その結果、候補者は学習も仕事も両立して、いきいきしている。職員は「到達度試験結果の考察票」に従って指導し、彼女達の現状把握がよくできるようになった。
- 学習支援金を上手に活用して、今後は、スカイプ授業も取り入れたいと本部と交渉中だ。

(三重県・Y施設)

受けてビックリ、「教育効果」の すごさ！！

- 「到達度試験」に参加して、わずか 1 カ月間で大きな効果が出て、驚いている。とてもとても嬉しくて、その気持ちをことばの研究社にメールでご報告した。ベトナム人の受験者達も、この教育の仕方に変化興味を持ち、自分たちから進んで勉強するようになった。嬉しい限りだ。

(東京都・S施設)

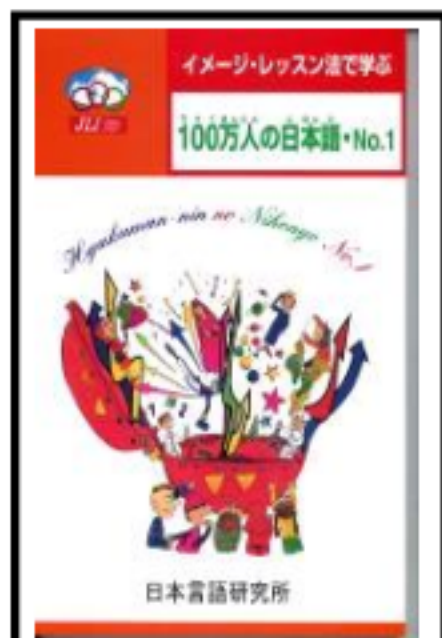
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる
- ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める
- ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

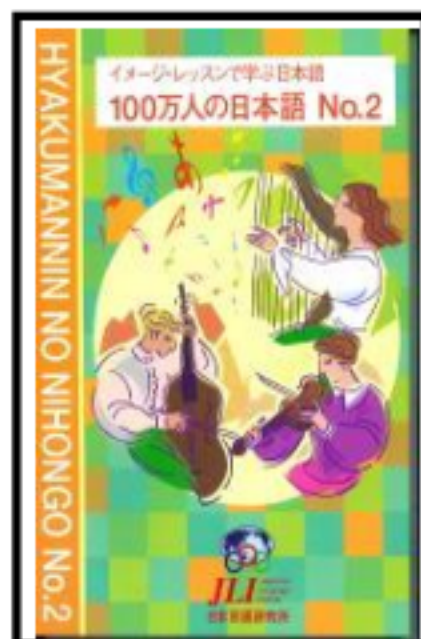
EPA学習支援
スカイプ・教材の無い自宅
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805円)
※ 習得漢字数 310字～620字
※ 習得語彙数 520語～1,560語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805円)
※ 習得漢字数 420字～840字
※ 習得語彙数 570語～1,710語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。
論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。
仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300円)
※ 習得漢字数 850字～1,700字
※ 習得語彙数 1,110語～3,330語

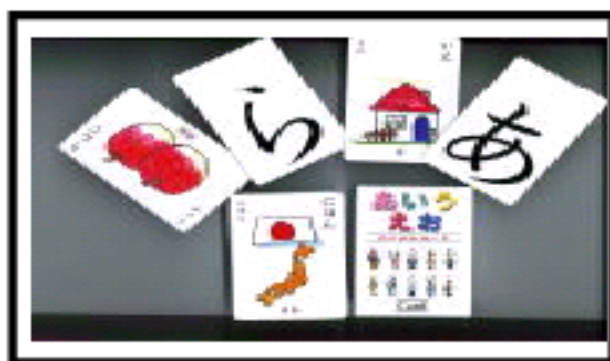
使ってみてビックリ！

教育効果の高さ

学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもん」と「こたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

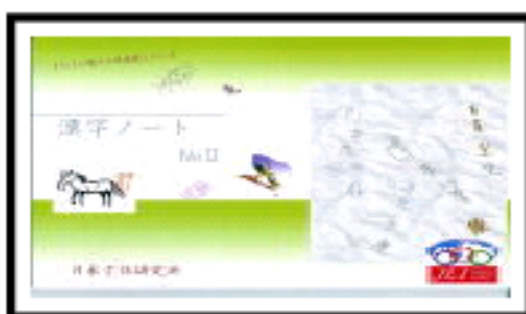
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回～Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵かき(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E～国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2、3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		